

全日本クラス別けん玉道選手権大会 予選会概要

予選会

【S～Fクラス】参加者全員で一斉に予選（クラス分け）を行う。

- 全20種目、各種目2回ずつ試技する。
- 1種目目の「小皿」から順に行い、チェックポイント（各クラスの振り分けの境になる種目）の時点で、失敗が5回以上になった選手は予選終了となり、決勝競技の参加クラスが決まります。
ただし、以下に示す条件で、予選の結果よりも上位のクラスに参加できます。希望する選手は、そのクラス分け種目（チェックポイント）まで予選を行って下さい。

・ 級がない人～四段までの選手 → 予選の結果で、Fクラス、Eクラス、Dクラス、Cクラスのいずれかの決勝競技に参加することになった場合、希望すれば上のクラスである Bクラス の決勝競技に参加できます。この場合は、チェックポイントBまで予選を行って下さい。

・ 五段以上の選手 → 予選の結果で、Fクラス、Eクラス、Dクラス、Cクラス、Bクラスのいずれかの決勝競技に参加することになった場合、希望すれば上のクラスである Aクラス の決勝競技に参加できます。チェックポイントAまで予選を行って下さい。

予選の結果よりも下位に位置するクラスには、希望しても参加することはできません。
（例）三段を所有する選手が、予選の結果でSクラスになった。この場合、下のクラスであるBクラスに参加することはできない。

- 決勝競技のクラス分け
 - ・ Fクラス 05番「ふりけん」までで終了
 - ・ Eクラス 08番「世界一周」 //
 - ・ Dクラス 10番「さか落とし」 //
 - ・ Cクラス 12番「うぐいす」 //
 - ・ Bクラス 17番「すべり止め極意」 //
 - ・ Aクラス 20番「二回転灯台」 //
 - ・ Sクラス 終了時点で失敗回数が4回以下

※Sクラスへの振り分けが確定してもトーナメント組み合わせ決定の為、20種目目まで予選を継続します。
（例）うぐいすの谷渡りまでノーマスの場合、残り全部を失敗してもSクラスになることが確定しているが、最後まで予選を続けます。

【予選会終了後】

- S～Eクラス に振り分けられた選手
全員参加による決勝トーナメントを実施（予選落ちなし）。トーナメントの組み合わせは、予選の得点による。
＜予選順位の決定要領は以下の順による＞
 - ① 総得点 ② より種目番号の多い種目での得点 ③ 試技1回目の得点
（①②③で区別できない場合は同順位となりトーナメント位置は受付順にて決定する。）
- Fクラス に振り分けられた選手
全員参加による得点制決勝競技を実施します。

【SA】クラス

該当選手：過去3年間のJKA杯、JKAジュニア杯、及び全日本の予選通過者(所有段位に関係なく)
（敗者復活者等も含む。全日本選手権のシード選手も含む。ただし全日本選手権のシードのうちRPT該当選手、記念大会シード該当選手は除く）

- 予選会には参加せず、直接決勝トーナメントに参加となります。
 - ※ トーナメントの位置は抽選により決定します。
 - ※ クラス別選手権開催時点で小学生のSA選手はSクラスまたはSAクラスのトーナメントのどちらかを選んで参加できます。
（例1）JKAジュニア杯予選通過実績あり。クラス別大会開催時に小学生 → S か SA か選べる（いずれにしても予選免除）
（例2）JKAジュニア杯予選通過実績あり。 クラス別大会開催時には中学生 → SAのみ

予選会の流れ(五段以上の人)

級をもっていない人～四段までの人は、別紙で説明します。

↓ 記録用紙のイメージ ↓

No	種目	1回目	2回目	小計
1	小皿			
2	ろうそく			
3	とめけん			
4	飛行機			
5	ふりけん			
6	県一周			
7	日本一周			
8	世界一周			
9	地球まわし			
10	さか落とし			
11	宇宙一周			
12	うぐいす			
13	つるしとめけん			
14	はねけん			
15	一回転飛行機			
16	一回転灯台			
17	すべり止め極意			
18	うぐいすの谷渡り			
19	つるし一回転飛行機			
20	二回転灯台			
	合計			

↓↓ 各チェックポイントの説明 ↓↓

- 1)チェックポイントF までは全員が試技します。
・たとえ全部失敗だとしても、チェックポイントF までは続けて下さい。
・チェックポイントFの時点で、**失敗が5回以上になった選手** は
決勝競技は Fクラス への参加となり、ここで予選終了です。
※ただし五段以上の選手は、希望すればAクラスの決勝競技に参加できます。
希望する場合は、チェックポイントAまで(予選の最後まで)必ず予選を続けて下さい。
- 2)チェックポイントF を通過した選手は、チェックポイントEまで試技を続けます。
・チェックポイントE の時点で、**失敗が5回以上になった選手** は
決勝競技は Eクラス への参加となり、ここで予選終了です。
※ただし五段以上の選手は、希望すればAクラスの決勝競技に参加できます。
希望する場合は、チェックポイントAまで(予選の最後まで)必ず予選を続けて下さい。
- 3)以下、同じように、各チェックポイントまで試技をして、
失敗が5回以上になった選手 はそこで予選が終了で決勝競技の参加クラスが決まります。
※しつこいようですが、五段以上の選手は、希望すればAクラスの決勝競技に参加できます。
希望する場合は、チェックポイントAまで(予選の最後まで)必ず予選を続けて下さい。
- 4)チェックポイントB を通過した選手は、チェックポイントAまで試技を続けます。
・チェックポイントA の時点で、**失敗が5回以上になった選手** は
決勝競技は Aクラス への参加となります。
・**チェックポイントAで、失敗が4回までの選手(合計得点36点以上)は、
決勝競技は Sクラス への参加となります。**
**※予選の結果、Sクラスへの参加となった選手は、希望しても下のクラスである
Aクラスの決勝競技には参加できません。**